

(補足説明)

教養学部・総合文化研究科のみなさんへ

2012 IARU Global Summer Program 派遣学生の募集について

標記について、申請を希望する学生は、募集要項等一式を熟読の上、以下の手順で応募書類を提出して下さい。

【提出先・問合せ先】

教養学部 駒場 IO サポートセンター (アドミニストレーション棟 1 階)

電 話 : 03-5454-4586 / 03-5454-6312

メール : ryugakusei-g@adm.c.u-tokyo.ac.jp

【~~必~~切及び留意点】

☆2月23日(木) 16:30 までに上記提出先に応募書類一式を提出して下さい。

なお、①派遣申請書 (Word ファイル・署名前のもの)、②Application Form (Word ファイル)、③成績評価係数計算表 (Excel ファイル) については、応募締切日までに、メール添付でも駒場 IO サポートセンター宛に送付してください。

件名 : 2012 IARU GSP 派遣申請 (教養学部○年 / 総合文化修士○年 / 総合文化博士○年 / 氏名)

データファイル名 : 「(所属・氏名) 2012 IARU GSP 申請書」

「(所属・氏名) 2012 IARU GSP Application Form」

「(所属・氏名) 2012 IARU GSP 成績評価係数計算表」

【応募書類について】

① 2012 IARU Global Summer Program 派遣申請書 (所定様式・和文)

申請書欄 16、17 が記入済であることを確認した上で上記提出先へ提出して下さい。

申請書欄 16 については、学部 1 年生はクラス担任、学部 2 年生は内定先の教員の署名を貰ってください。

申請書欄 17 については、下記の窓口で説明を受けた後、署名を貰って下さい。

(学部 1 年生) 教養学部前期課程係 ③番窓口

(学部 2 年生) 24 年度に進学予定の学部担当窓口

(学部 3 年生) 教養学部後期課程係 ④番窓口

(学部 4 年生) 24 年度に進学予定の研究科担当窓口

(大学院生) 総合文化研究科大学院係 ⑤番窓口

② 2012 IARU Global Summer Program Application Form (所定様式・英文)

記入にあたっては、不備のないよう気をつけてください。

③成績評価係数計算表 (所定様式)

正確に入力して下さい。計算ミスがあった場合、推薦順位について不利になる場合があります。

*①～③の様式は、本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_iaru_gsp.html

④大学入学後の全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し

⑤英語能力を証明する書類

原則として、英語能力を証明できるものとして、次のいずれかを提出すること。

- ・以下の英語能力試験 (1つ以上) を受験している場合は、その成績証明書の写し：

TOEFL PBT/iBT/CBT、IELTS、TOEIC、実用英語技能検定

(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)

- ・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。
(例：英語圏の高等学校を卒業、等)

1. 概要

IARU Global Summer Program (以下 IARU GSP とする) は、世界の IARU () 加盟 10 大学が、6 月～8 月の 2～5 週間程度、加盟各大学の学生向けに開講する短期の留学プログラムです。授業は英語で行われ、各コースには世界トップレベルの IARU 加盟各大学の選考を経て推薦された学生が参加します。

本募集要項により、2012 年夏期に実施される IARU GSP (東京大学で開講されるコースを除く) への派遣学生を募集します。

IARU (イアルー: International Alliance of Research Universities、国際研究型大学連合):

将来のグローバルリーダーを養成する世界トップクラスの 10 の研究型大学からなる大学連合。研究・教育の様々な連携を行うことを目的として 2006 年 1 月に設立された。

2. 開催地

IARU 加盟 10 大学

オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、東京大学、イエール大学

3. 開講期間・開講コース

2012 年 6 月～8 月の 2～5 週間程度・10 大学 21 コース

詳細は IARU GSP ホームページで確認すること。URL: <http://www.iaruni.org/gsp>

以下の東京大学において開催されるコースは、本募集による応募申請は必要なく、本学学生は通常の授業として受講できる。受講を希望する場合は、2012 年夏学期の履修登録時に履修を行うこと。他学部聴講となる場合は、所定の手続きに従って履修登録を行うこと。

- ・ Sustainable Urban Management (工学部開講)
- ・ Nanoscience (工学部開講)
- ・ Japan in Today's World (教養学部開講)

4. 派遣学生数

各コースに 2 名程度ずつ派遣する。各コースの受入可能人数によっては 3 名以上の場合もある。

5. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 参加コースに必要な英語能力を有すること。参加コースを受講するのに必要な英語能力は、TOEFL iBT 80～100、またはそれに相当するものを目安とする。ただし、学内選考は志望理由等も含めて総合的に行われるため、目安に満たない場合でも申請は妨げない。
- (2) 申請時及び派遣期間を通じ、本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。(休学者を除く)
- (3) 参加コースが求める条件を満たすこと。コースによっては学年・専攻分野等の条件が設けられている

場合がある。

- (4) 申請の際には、平成 24 年度夏学期の授業・試験日程を各自事前に確認の上、履修において不利益とならないよう注意すること。また、派遣時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、派遣時に所属する予定の部局の担当部署()にその旨報告・相談すること。
- (5) 派遣時に所属する予定の部局の担当部署()に相談し、申請前に派遣に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名を受け、納得した上で申請すること。
- (6) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、各大学から単位や修了証等が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位が必ずしも本学の単位となるとは限らないため、納得した上で申請すること。単位認定の手続き等については、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。各部局の担当部署については、後日「海外留学の案内」ホームページに掲載予定。

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_iaru_gsp.html

6. 費用

コースにより異なるため、IARU GSP ホームページで確認すること。原則として、留学に要する経費は自己負担とする。

- (1) コースによっては、本学から参加費の一部を補助することもある。参加費の補助を希望する学生は、申請書にその理由を簡潔にまとめて記入すること。参加費補助の有無や金額は、コース参加費用及び本学での IARU GSP 予算状況等を勘案の上、決定する。
- (2) コースによっては、派遣先大学等から奨学金が支給される場合もある。

7. 応募締切

所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

IARU GSP 共通のホームページ等に記載されている締切日(3月2日)とは異なるので注意すること。

【参考】How to Apply <http://www.iaruni.org/global-education-initiatives/global-summer-program/courses-2011/how-to-apply>

8. 応募方法

- (1) 「9. 応募書類」欄に記載の応募書類一式を紙媒体で、現在所属する部局の応募締切日までに、現在所属する部局の担当部署へ提出すること。
- (2) 紙媒体とともに、応募書類のうち 派遣申請書(Word ファイル・署名前のもの) Application Form (Word ファイル) 成績評価係数計算表(Excel ファイル)については、応募締切日までに現在所属する部局の担当部署宛にメール添付でも送付すること。

送付先：所属部局担当部署

メールタイトル：2012 IARUGSP 派遣申請(所属・氏名)

データファイル名：「(所属・氏名) 2012 IARU GSP 申請書」

「(所属・氏名) 2012 IARU GSP Application Form」

「(所属・氏名) 2012 IARU GSP 成績評価係数計算表」

9. 応募書類

2012 IARU Global Summer Program 派遣申請書（所定様式・和文）

必ず署名を入手すること。

2012 IARU Global Summer Program Application Form（所定様式・英文）

成績評価係数計算表（所定様式）

（～ の様式は本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_iaru_gsp.html）

大学入学後全学期の成績証明書（英文又は和文）の写し

英語能力を証明する書類

原則として、英語能力を証明できるものとして、次のいずれかを提出すること。

- ・以下の英語能力試験（1つ以上）を受験している場合は、その証明書の写し：
TOEFL PBT/iBT/CBT、IELTS、TOEIC、実用英語技能検定
（受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする）
- ・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書（様式任意。ただし A4 サイズ）を提出すること。（例：英語圏の高等学校を卒業、等）

10. 選考

（1）本学において3月中旬に学内選考を行い、派遣候補学生を各大学に推薦する。学内選考では、提出された書類を審査し、希望順位を勘案して選考を行う。IARU GSPでは原則学部レベルのコースが提供されるため、学内選考にあたっては学部学生を優先する。ただし、学年制限等の条件が設けられているコースについてはその限りではない。

（2）学内選考のために面接審査を行うこともある。面接を実施することになった場合、面接日時等は本部国際交流課から申請者に直接連絡するため、3月中旬はメールや電話に注意しておくこと。

（3）3月下旬に派遣先大学における審査が行われる。受入が決まった学生には、4月13日までに派遣先大学から直接メールで連絡があり、指定日（4月20日の予定）までに参加意思の回答等を行うこととなっている。当該日の前後はメールに注意しておくこと。

（4）選考の結果は4月下旬頃（予定）までに、申請時及び派遣時の所属部局の部局長あてに通知する。

11. 受入決定後の留意事項

（1）入学手続き及び渡航手続き等は、派遣先大学等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。

（2）やむを得ない事情により派遣を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。

（3）一般的な留学のための情報や危機管理等については、本学ホームページ「東京大学 海外留学の案内」を参照すること。（<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html>）また、派遣期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。

- (4) 所属部局の指示に従い、「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行うこと。(手続きについては、派遣時に所属する部局の担当部署にて相談すること。)
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより指導教員等の関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (6) 5月～6月頃、派遣学生へのオリエンテーションを開催するため、やむを得ない事情がない限り参加すること。

12. コース参加の際の注意事項

- (1) IARU GSP の趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げ、受講コースを修了することに努めること。
- (2) 本学から選抜された代表学生として海外の大学に派遣されることを自覚し、派遣先大学・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

13. 留学後の報告等

- (1) 派遣学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に「2012 IARU GSP 報告書」(所定様式)を本部国際交流課へ提出すること。
- (2) 各種奨学金を受給した場合は、上記以外にも指定された報告書類を提出すること。
- (3) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、各大学から単位や修了証等が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位等が必ずしも本学の単位となるとは限らない。(単位認定の手続き等については、所属する部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。)
- (4) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際に必要となる。
- (5) やむを得ない事情のない限り、帰国後に開催する IARU GSP 報告会・説明会等には極力参加し、IARU GSP の広報や次年度以降の参加希望学生へのアドバイスにできる限り協力すること。

14. 関連ホームページ

IARU GSP 共通ホームページ (IARU 加盟各校共通ページ。各コースの説明等):

<http://www.iaruni.org/gsp>

東京大学 IARU GSP ホームページ (IARU GSP の本学学生向け情報):

<http://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/international-activities/gsp/for-todai-students.html>

東京大学「海外留学の案内」ホームページ (IARU GSP 応募に関する情報):

http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_iaru_gsp.html

15. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること: 現在所属する部局の担当部署
- (2) 単位認定等、本学での学務関係の事項: 派遣時に所属する部局の担当部署
- (3) 各コースの内容等: IARU GSP 共通ホームページに掲載の各大学の GSP Coordinators
- (4) その他の事項: 本部国際交流課学生・研究者交流チーム (iaru.gsp@adm.u-tokyo.ac.jp)